

かわら版あおば消防通信 57 号

令和 2 年 1 月発行：横浜市青葉消防署 協賛：青葉火災予防協会

令和元年・区内の火災は大幅に減少、救急は増加しました。

【火災概況】

区内の火災は25件で、平成6年に青葉区が誕生してから最も少ない件数となりました。反面、残念ながら住宅火災で死者・負傷者各1名が発生しました。

出火原因別では1位「たばこ」5件、2位「放火」4件、3位「電気機器」3件となっています。また、横浜市内の火災件数は685件で前年より17件の減少となりました。

＜青葉区の火災件数＞

	元年	30 年	増△減
火災件数	25 件	43 件	△18
種別	建物	26 件	△9
	車両	5 件	△2
	その他	12 件	△7

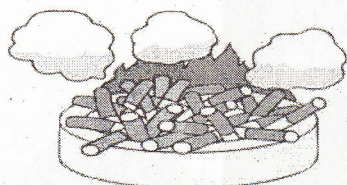
＜青葉区の主な出火原因＞

	元年	30 年	増△減
1 位 たばこ	5 件	7 件	△2
2 位 放火（疑いを含む）	4 件	5 件	△1
3 位 電気機器	3 件	1 件	2

【令和元年 12 月 31 日現在】

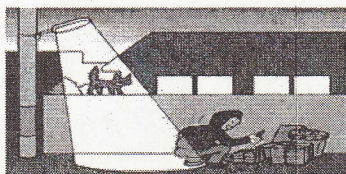
＜火災予防のポイント＞

たばこ



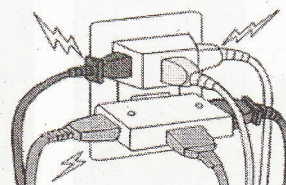
- 寝たばこは絶対にしない
- 灰皿に吸い殻を溜めない
- 火はきちんと始末する

放火



- ごみは収集日の朝に出す
- 家の周囲を整理整頓し
明るくする

電気機器



- タコ足配線をしない
- 接続部にほこりを溜めない
- 破損したものを使用しない

【救急概況】

青葉区の救急件数は、12,554 件で、前年と比較して 529 件増加しました。

救急要請の理由では、急病によるものが最も多くなっています。

＜青葉区の救急件数＞

	元年	30 年	増△減
件数	12,554 件	12,025 件	529
種別	急病	7,946 件	466
	交通事故	703 件	△67
	一般負傷	2,374 件	55
	その他	1,002 件	75

【令和元年 12 月 31 日現在】

急な病気やけがで受診の相談をしたいとき、救急車を呼ぶか迷ったときは、**横浜市救急相談センター『#7119』**又は『045-232-7119』にお電話をください。年中無休で 24 時間対応しています。

症状に基づく緊急性や受診の必要性について、看護師がアドバイスします。

※火災概況・救急概況とも速報値のため、確定値ではありません。

緊急時にはためらわず、
すぐに救急車を呼びましょう！！



令和2年青葉区消防出初式を開催しました！

新春恒例の青葉区消防出初式を1月5日（日）に開催しました。

第一部は、消防功労者への表彰をはじめ、日本体育大学チアリーダー部による華麗で迫力あるパフォーマンス、消防音楽隊による演奏及びドリル演技をご覧いただきました。



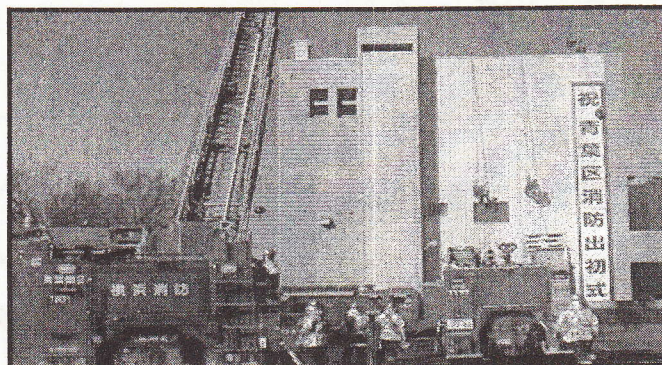
しんこうとびしよくみあい

きや

まといふりこ

第二部は、神港鳶職組合の皆さんによる木遣り・纏振込み・はしご乗りや、消防団による車両分列行進及び一斉放水、消防隊による消防総合演技などを行いました。

来場された1,500名の区民の皆さまに消防署、消防団の今年一年の意気込みをご披露させていただきました。



今年も火災予防にご協力をお願いいたします。

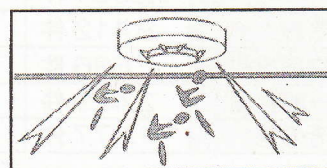
住宅用火災警報器の点検をしましょう

住宅用火災警報器は、経年劣化や電池切れにより火災を感知なくなることがありますので**定期的に点検**を実施し、正常に作動していることを確認しましょう。

警報器本体から下がっているひもを引く、またはテストボタンを押すことにより作動を確認することができます。

また、安心してご使用いただくために、購入・設置後10年を目安に警報器を取り替えましょう。

～1年に1回以上作動点検をしましょう～



お問い合わせは、青葉消防署 予防課予防係

TEL 045-974-0119 までご連絡ください。

